

自販機に防犯力メラ

桜井市と東京の
社団法人が協定



調印した協定書を掲げる松井市長(右)と
長岡理事=24日、桜井市役所

桜井市は24日、安全な地域づくりに向け、一般社団法人安全・安心まちづくりICT推進機構(東京都)と「防犯カメラ等を併設した自動販売機の設置及び管理に関する協定」を締結した。

市役所で行われた調印式には、松井正剛市長と同社団法人の長岡

茂治理事らが出席。松井市長が「大規模災害時には自販機の飲料水が市民に無償提供できる」と協定を歓迎。併せて「桜井中央児童公園など3公園に計4台設置する。これが第一歩」と話し、取り組みの推進に意欲を示した。

長岡理事は「市民の安全生活に貢献できれば幸い。防犯カメラを併設した自販機は県では桜井市が初めて。設置する4台とも災害対応となっているのは画期的」と述べた。

防犯カメラは自販機に電線を引くポールに設置。カメラ機器と自販機は安全・安心まちづくりICT推進機構が所有し、撮影された映像は桜井市に属する。また市はこれに伴う財政支出はないとしている。